

研究課題：上部消化管潰瘍性病変に対する画像検査の検出の正確さについての後ろ向き研究

1. 研究の目的

上部消化管潰瘍性病変の検出のための最適な画像検査を明らかにします。

2. 研究の概要

上部消化管潰瘍性疾患は、活動性出血などの早期に介入をしなければ、早期に循環動態の不安定化を招く病態から、慢性の経過をたどる病態まで様々な経過が含まれます。確定診断と治療は内視鏡になりますが、施行のためには全身麻酔が必要であることが多く、侵襲的な検査になります。内視鏡前に行われる画像診断として、超音波検査、消化管造影検査、CT,MRI検査がありますが、どのような所見、検査がより正確に病変の検出が可能であるかの検討は少ないです。診断のための最適な画像検査とその所見が明らかになれば、上部消化管潰瘍性病変が疑われる患者に対して、より早く適切な画像検査の提案、そして内視鏡検査の施行の助言ができるようになると思います。

3. 研究の方法

研究期間は 2000 年 9 月から 2020 年 9 月までの患者様で、上部消化管疾患が疑われ、検査のために単純レントゲン、超音波検査、CT,MRI 検査、内視鏡検査が行われた症例を、検査時期、治療法、画像所見などを後方視的に調べます。

4. 研究期間

2020 年 11 月から 2021 年 1 月までの 3 ヶ月間で、カルテを調べ、結果をまとめます。

5. 研究に用いる資料・情報の種類

骨盤骨の検査のため撮影された患者様の検査時その後の経過を、画像検査結果、カルテの記載から、病気に関する事柄（検査所見、治療方法）を調べまとめます。

6. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがありますが、患者様の名前など個人情報は一切わからないようにしますので、プ

ライバシーは守られます。また、この試験で得られたデータが本試験の目的以外に使用されることはありません。

7. 研究組織

研究責任医師： 細川 崇洋

研究施設名： 埼玉県立小児医療センター 放射線科

連絡先： 330-8777 埼玉県さいたま市中央区新都心 1-2

電話 048-601-2200

8. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2021年 1月 31日まで下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

埼玉県立小児医療センター

医事担当（代表 048-601-2200）